

設定の手順

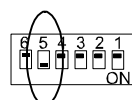
このマザーボードは各ユーザのシステムに適応した設定ができるように、いくつかの変更可能なジャンパー/スイッチがボード上に設置されています。この章ではそれぞれのジャンパーの設定について説明します。以下のステップに従い、コンピュータの組み立て及び設定を進めてください。

- ステップ1
システムジャンパーの設定
- ステップ2
メモリモジュールの装着
- ステップ3
CPUの装着
- ステップ4
拡張カードの装着
- ステップ5
各ケーブル類と電源の接続
- ステップ6
BIOSの設定
- ステップ7
サポートソフトの設定

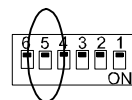
注意：このマザーボードをケースに設置する際に、電気ドリルを使用する場合は静電気防止リストを着用してください。チップのピンに損傷を与えないために、推奨するトルクは 5.0 ~ 8.0 kg/cmです。

CMOSの解除 SW1-5

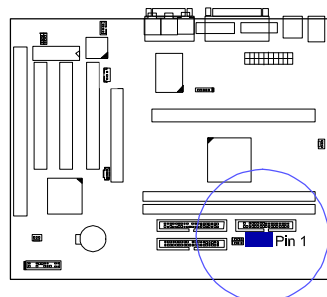
CMOS RAMはボード上に搭載されているセルバッテリーにより電源を供給されています。RTCデータを消去するには次の手順にしたがってください。(1) コンピュータの電源を落とします。(2) SW1-5をOnの位置に設定してこの機能を有効にします。(3) コンピュータの電源を投入します。(4) コンピュータの電源を落とします。(5) CMOS解除機能を無効にします。(6) コンピュータの電源を投入します。(7) ブート時にDeleteキーを押してBIOS Setupに入り、新しい設定を行ってください。



Enable (Clear CMOS)

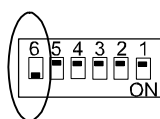


Disabled (Default)

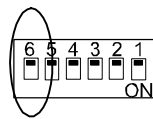


パスワードの解除 SW1-6

このジャンパーで、パスワードの設定を有効または無効にします。パスワードを忘れた場合は次の手順でパスワードを解除できます。(1) コンピュータの電源を落とします。(2) SW1-6をOnの位置に設定してこの機能を有効にします。(3) コンピュータに電源を投入します。(4) コンピュータの電源を落とします。(5) SW1-6をOffの位置に設定してこの機能を無効にします。(6) 再度コンピュータに電源を投入してください。(7) ブート時にDeleteキーを押してBIOS Setupに入り、新しいパスワードを入力してください。



Enable (Clear Password)



Disable (Default)

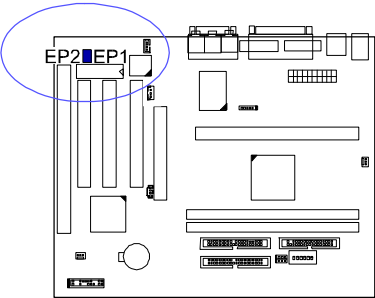
Flash ROM タイプの選択 EP1, EP2

この2つのジャンパーでFlash ROMチップのタイプを選択できます。この設定はこのボードの製造上のデフォルト値に設定されています。マザーボードに装着されているFlash ROMのタイプを確認する場合は、チップのステッカーをはがして確認してください。

2MB:

MXIC 28F2000TPC 1
INTEL 28F020 EP2 EP1

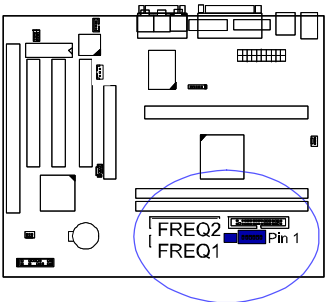
Winbond W29C020 1
SST 29EE020 EP2 EP1
ATMEL AT29C020
AMD AM29F002NT



DIMMとシステム周波数の選択 FREQ1, FREQ2

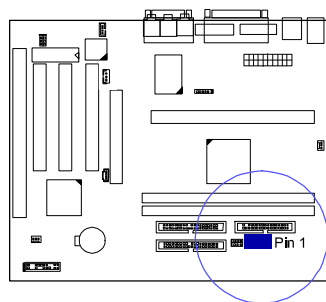
これらのジャンパーはDIMMとシステムの周波数を設定します。

CPU External Freq.	DIMM Freq.	PC-100 -7ns, -8ns	Non PC-100 -8ns, -10ns, -12ns, above
100MHz		1 FREQ2 FREQ1	1 FREQ2 FREQ1
66MHz		N/A	1 FREQ2 FREQ1



CPU内部周波数: SW1-1, SW1-2, SW1-3, SW1-4

これら4つのスイッチはCPU内部周波数を設定します。



<i>Ratio</i>	<i>Bus Frequency = 100MHz</i>	<i>Bus Frequency = 66MHz</i>	<i>Switches Settings</i>
3.5 x	350MHz	233MHz	
4 x	400MHz	266MHz	
4.5 x	450MHz	300MHz	
5 x	500MHz	333MHz	